



2024年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 日本精蠟株式会社

上場取引所 東

コード番号 5010 URL <https://www.seiro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 瀧本 丈平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員

(氏名) 伊藤 宜広

TEL 03-3538-3061

定時株主総会開催予定日 2025年3月27日

有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	22,045	1.6	2,245		1,682		1,776	
2023年12月期	21,704	43.6	552		785		1,221	

(注) 包括利益 2024年12月期 1,889百万円 (%) 2023年12月期 1,610百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	89.96	58.65	37.6	5.6	10.2
2023年12月期	61.87		26.6	2.5	2.5

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 百万円 2023年12月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	29,725	5,673	19.1	287.30
2023年12月期	30,001	3,784	12.6	191.61

(参考) 自己資本 2024年12月期 5,673百万円 2023年12月期 3,784百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	2,943	149	2,367	2,297
2023年12月期	1,410	495	1,115	1,835

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期		0.00		0.00	0.00			
2024年12月期		0.00		0.00	0.00			
2025年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	3.4	1,400	37.7	860	48.9	790	55.5	40.00

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期	22,400,000 株	2023年12月期	22,400,000 株
2024年12月期	2,650,747 株	2023年12月期	2,650,747 株
2024年12月期	19,749,253 株	2023年12月期	19,749,253 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(参考)個別業績の概要

2024年12月期の個別業績(2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	20,547	1.1	1,797		1,324		1,382	
2023年12月期	20,765	44.5	1,031		1,209		1,626	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	70.03	47.21
2023年12月期	82.37	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	26,950	4,333	16.1	219.41
2023年12月期	27,919	2,950	10.6	149.38

(参考) 自己資本 2024年12月期 4,333百万円 2023年12月期 2,950百万円

< 個別業績の前期実績値との差異理由 >

添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況(当期事業概況と成果)」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度の実績値と当事業年度実績値との間に差異が生じております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 事業環境

当連結会計年度（2024年1月1日～2024年12月31日）における当社グループの事業環境を概観しますと、日本経済は緩やかな回復基調を維持した一方、春闘賃上げ率が数十年ぶりの高いレベルとなるなど、労務費の上昇傾向が明確になりました。海外では、米国経済は底堅く推移しましたが、中国では経済成長の鈍化が続き、ヨーロッパ・中東での紛争が継続しました。こうした中、日本円の対主要通貨の為替レートは歴史的な円安となり、原油価格は高止まりしました。

② 事業の経過及び当期の経営方針等に基づく諸施策の実施状況

こうした環境下における当社グループの当連結会計年度決算は、ワックス主原材料含む略全ての資材価格の上昇に加え、国内外での物流の逼迫並びに運賃の高騰等のコストアップに見舞われましたが、『中期経営計画（23-27）』に掲げた重要施策である原料転換の前倒し、限界利益を意識した高付加価値製品販売の追求、脱重油等の取り組みに加え、お客様には当社製品の価格改定に対してご理解を賜ったことで、前年同期比増益となりました。

③ 当期事業概況と成果

当連結会計年度の業績は、以下のとおりです。

2022年の損益悪化に際し経営の構造改革を図るべく策定した『中期経営計画（23-27）』で掲げた重要施策である「原料転換」を前倒し（2023年12月期）、「高付加価値製品販売の追求」と「脱重油」に取り組むとともに、「製品価格の見直し」を進めました。

	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年同期比
・国内ワックス販売			
売上高（百万円）	11,583	13,652	+2,069
数量（トン）	26,365	25,732	△632
・輸出ワックス販売			
売上高（百万円）	6,445	6,541	+95
数量（トン）	20,891	18,310	△2,581
・重油販売			
売上高（百万円）	3,498	1,703	△1,794
数量（キロリットル）	38,352	17,920	△20,431
・その他商品販売			
売上高（百万円）	177	147	△29
・総売上高（百万円）	21,704	22,045	+341
・営業利益又は営業損失（△）（百万円）	△552	2,245	+2,798
・経常利益又は経常損失（△）（百万円）	△785	1,682	+2,468
・親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（百万円）	△1,221	1,776	+2,998

(販売)

ワックスについては、高付加価値品販売の追求と製品価格の見直しを行いました。その結果、数量△7%・単価+20%となり、増益に貢献しました。

重油については、原料転換とワックス収率を意識した原料投入・工程稼働により生産数量減となり、逆ザヤ取引となっている重油が減販(△53%)、増益に貢献しました。

(売上高、損益)

売上高は前年同期比341百万円増の22,045百万円、営業損益は同比2,798百万円増の2,245百万円の利益、経常損益は同比2,468百万円増の1,682百万円の利益、親会社株主に帰属する当期純損益は同比2,998百万円増の1,776百万円の利益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末に比較して275百万円減少し29,725百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加額461百万円、受取手形及び売掛金の減少額502百万円、商品及び製品の増加額560百万円、流動資産その他の減少額227百万円、有形固定資産合計の減少額728百万円、繰延税金資産の増加額146百万円等によるものです。

これに対して負債合計は、前連結会計年度末に比較して2,165百万円減少し24,051百万円となりました。これは主として短期借入金の減少額2,184百万円、流動負債その他の減少額305百万円、長期借入金の増加額349百万円等によるものです。

また純資産合計は、前連結会計年度末に比較して1,889百万円増加し5,673百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加額1,772百万円、為替換算調整勘定の増加額113百万円等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して461百万円増加し2,297百万円となりました。

当連結会計年度末における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,943百万円(前年同期比1,532百万円の収入増)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益1,658百万円、減価償却費946百万円、売上債権の減少額519百万円、棚卸資産の増加額565百万円、未収消費税等の減少額345百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、149百万円(前年同期比345百万円の支出減)となりました。これは主として有形及び無形固定資産の取得による支出151百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,367百万円(前年同期比は1,252百万円の支出増)となりました。これは主として短期借入金の純減額2,306百万円、長期借入金の返済による支出53百万円等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
自己資本比率 (%)	23.6	23.1	16.3	12.6	19.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	11.5	11.2	7.6	8.6	17.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	28.4	—	14.8	6.4
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	4.0	—	6.3	14.3

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) 連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結財務諸表に記載されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(注5) 2020年12月期及び2022年12月期は営業キャッシュ・フローがマイナスであったためキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載していません。

(4) 今後の見通し

2025年は、未来へ繋がる足場固め「基盤強化期」と位置付け、以下の施策を実施してまいります。

① 重要な施策

- a) 原料選択、工程改善によってワックス収率を上げ、重油生産量を更に削減することに取り組みます。
- b) ワックス専業メーカーとして、また国内唯一のワックスメーカーとして、当社ならではの新規高付加価値ワックスへの開発・販売に注力します。
- c) サプライチェーン(原料調達～製品販売)のオペレーションの最適化を追求すると共に、徳山工場、つくば事業所において、これからの成長戦略、新たな柱となる開発製品に必要な設備投資を行います。
- d) 棚卸資産の削減により、財務体質の改善を行います。

② 配当の考え方

引き続き「中期経営計画(23-27)」に掲げた事業モデルの転換を柱とする構造改革を推し進め、できる限り早期に財務基盤の再構築を果たす所存ではございますが、2024年12月期の配当につきましては、会社法第461条に定める分配可能額が無いことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますことに、株主の皆様のご理解を賜りたく存じます。

2025年12月期の配当につきましても、分配可能額の確保が見通せないことから、無配継続の予想とさせていただきますが、当社といたしましては、早期復配を目指して参りますので、株主の皆様のご支援を賜りたく存じます。

③ 業績予想(連結)

	2025年度
売上高(百万円)	21,300
営業利益(百万円)	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	790

なお、本業績予想は、作成時点で入手可能な情報と過去の実績、傾向等を参考に置いた一定の前提条件の下に算出していますことを、予めご了承お願いいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,835	2,297
受取手形及び売掛金	3,178	2,675
商品及び製品	5,840	6,400
原材料及び貯蔵品	3,039	3,125
その他	400	173
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	14,291	14,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,391	11,440
減価償却累計額	△8,487	△8,703
建物及び構築物 (純額)	2,904	2,736
機械装置及び運搬具	23,599	23,738
減価償却累計額	△22,033	△22,528
機械装置及び運搬具 (純額)	1,566	1,210
土地	9,291	9,300
リース資産	512	518
減価償却累計額	△108	△143
リース資産 (純額)	403	375
建設仮勘定	350	312
その他	2,250	2,396
減価償却累計額	△1,807	△2,099
その他 (純額)	443	296
有形固定資産合計	14,960	14,231
無形固定資産	101	84
投資その他の資産		
投資有価証券	313	313
繰延税金資産	158	304
退職給付に係る資産	49	26
その他	125	95
投資その他の資産合計	646	739
固定資産合計	15,709	15,055
資産合計	30,001	29,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,261	1,139
短期借入金	15,330	13,145
1年内返済予定の長期借入金	23	11
リース債務	37	36
未払法人税等	13	2
賞与引当金	55	58
修繕引当金	52	120
その他	1,383	1,078
流動負債合計	18,157	15,594
固定負債		
長期借入金	4,730	5,079
リース債務	407	376
再評価に係る繰延税金負債	2,891	2,891
退職給付に係る負債	29	34
その他	-	76
固定負債合計	8,058	8,457
負債合計	26,216	24,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	65	65
利益剰余金	△1,268	504
自己株式	△674	△674
株主資本合計	△1,776	△3
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	-
土地再評価差額金	5,544	5,548
為替換算調整勘定	16	129
その他の包括利益累計額合計	5,560	5,677
純資産合計	3,784	5,673
負債純資産合計	30,001	29,725

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	21,704	22,045
売上原価	19,743	17,470
売上総利益	1,960	4,575
販売費及び一般管理費	2,513	2,329
営業利益又は営業損失 (△)	△552	2,245
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	7	27
受取保険金	28	1
受取賃貸料	18	22
為替差益	47	—
その他	19	25
営業外収益合計	123	79
営業外費用		
支払利息	294	572
為替差損	—	35
その他	62	34
営業外費用合計	356	642
経常利益又は経常損失 (△)	△785	1,682
特別利益		
固定資産売却益	29	0
投資有価証券売却益	144	—
補助金収入	11	6
特別利益合計	185	6
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	12	11
減損損失	144	17
投資有価証券売却損	2	—
事業構造改善費用	584	—
特別損失合計	743	29
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	△1,344	1,658
法人税、住民税及び事業税	30	24
法人税等調整額	△153	△142
法人税等合計	△123	△117
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,221	1,776
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△1,221	1,776

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,221	1,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	△0
為替換算調整勘定	48	113
土地再評価差額金	△320	—
その他の包括利益合計	△388	112
包括利益	△1,610	1,889
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,610	1,889
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,120	80	△1,086	△674	△560
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩			5		5
減資	△1,020	1,020			—
欠損填補		△1,034	1,034		—
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△1,221		△1,221
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	△1,020	△14	△182	—	△1,216
当期末残高	100	65	△1,268	△674	△1,776

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	116	5,870	△32	5,955	5,394
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩		△320		△320	△314
減資					—
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△1,221
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△116	△5	48	△73	△73
当期変動額合計	△116	△325	48	△394	△1,610
当期末残高	0	5,544	16	5,560	3,784

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	65	△1,268	△674	△1,776
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩			△3		△3
親会社株主に帰属する当期純利益			1,776		1,776
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	1,772	—	1,772
当期末残高	100	65	504	△674	△3

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	0	5,544	16	5,560	3,784
当期変動額					
土地再評価差額金の取崩					△3
親会社株主に帰属する当期純利益					1,776
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△0	3	113	116	116
当期変動額合計	△0	3	113	116	1,889
当期末残高	—	5,548	129	5,677	5,673

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,344	1,658
減価償却費	1,057	946
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	2
修繕引当金の増減額(△は減少)	△32	68
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△59	3
受取利息及び受取配当金	△8	△31
支払利息	294	572
為替差損益(△は益)	35	40
受取保険金	△28	△1
固定資産売却損益(△は益)	△29	△0
減損損失	144	17
投資有価証券売却損益(△は益)	△141	—
補助金収入	△11	△6
固定資産除却損	12	11
売上債権の増減額(△は増加)	385	519
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,677	△565
仕入債務の増減額(△は減少)	△948	△123
未払金の増減額(△は減少)	113	△234
未払又は未収消費税等の増減額	953	345
その他	△446	△72
小計	1,618	3,152
利息及び配当金の受取額	8	30
保険金の受取額	28	1
利息の支払額	△222	△206
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△23	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,410	2,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△939	△151
有形固定資産の売却による収入	90	0
補助金による収入	11	6
投資有価証券の取得による支出	△0	—
投資有価証券の売却による収入	341	—
その他	0	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,184	△2,306
長期借入れによる収入	3,811	30
長期借入金の返済による支出	△1,657	△53
配当金の支払額	△0	△0
その他	△84	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,115	△2,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△204	461
現金及び現金同等物の期首残高	2,039	1,835
現金及び現金同等物の期末残高	1,835	2,297

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	ワックス	重油	その他	合計
外部顧客への売上高	18,029	3,498	177	21,704

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	アジア (日本を除く)	その他	合計
15,258	1,388	3,985	1,071	21,704

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア (日本を除く)	合計
14,115	845	14,960

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
安藤パラケミー株式会社	2,389	石油精製及び石油製品の製造販売事業

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	ワックス	重油	その他	合計
外部顧客への売上高	20,194	1,703	147	22,045

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 百万円)

日本	北米	アジア (日本を除く)	その他	合計
15,504	1,099	4,670	771	22,045

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

(単位: 百万円)

日本	アジア (日本を除く)	合計
13,529	702	14,231

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
安藤パラケミー株式会社	2,611	石油精製及び石油製品の製造販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	191.61円	287.30円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△61.87円	89.96円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	58.65円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△1,221	1,776
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△1,221	1,776
普通株式の期中平均株式数 (株)	19,749,253	19,749,253
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	－	242
(うち支払利息(税額相当額控除後) (百万円))	(－)	(242)
普通株式増加数 (株)	－	14,673,891
(うち新株予約権付資本性劣後ローン(株))	(－)	(14,673,891)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。